ＲＳ－６０２／６２２

取 扱 説 明 書

http://mtc-japan.com

＝重　要＝

Ｖ－Pack™ソフトウェアのサポートについて

Ｖ－Ｐａｃｋ™ソフトウェアはＣｌｅａｒ－Ｃｏｍからフリーソフトウェアとして供給されるＲＳ－６００シリーズ用のPCコントロールプログラムです。

Ｖ－Ｐａｃｋ™ソフトウェアは無償によるカスタマイズ用プログラムであるため、まことに勝手ながら松田通商ではサポートを行っておりませんので悪しからずご了承願います。
取扱説明書本文中にはＶ－Ｐａｃｋ™ソフトウェアについての記述もありますが、これは英文取説の内容を基に作成していることによるもので、実際のご使用を保証するものではありません。
Ｖ－Ｐａｃｋソフトウェアについてのダウンロード及びＰＣへのインストール、そしてカスタマイズ設定等につきましては、あくまでも設定されるユーザー様ご自身の責任において行っていただくこととなります。（日本語の取扱説明書も用意しておりません）。
つきましてはＶ－Ｐａｃｋソフトウェアについての設定方法やトラブル発生時などの対処方法に関するご質問にはお答えできない場合もありますので、くれぐれもその点をご留意いただきたながら御使用くださいますようお願いいたします。
もし、Ｖ－Ｐａｃｋ™ソフトウェアに関わる不具合が発生した場合、ＲＳ－６００シリーズ本体の保障期間内であっても保障修理の対象とはなりませんので十分ご注意くださいますようお願います。
なお、、ＲＳ－６００シリーズを修理及び不具合等でお預かりした場合は、機器本体に問題があるかどうかを検証するため、設定を工場出荷時の状態に戻すこととなります。また、ご返却は工場出荷時の初期設定となりますので、ユーザー様ご自身によってカスタマイズされている場合は、その状態を控えておいてくださいますようお願いいたします。

以上、甚だ勝手ではありますが状況をご理解のうえ、何卒ご了承賜りますようお願い申しあげます。

このたびは Clear－Com（クリアーカム） RS－602／622をご購入いただきありがとうございました。
機器を安全かつ快適にお使い頂くためにもご使用前に必ずお読みください。
なお、ご不明な点につきましては担当者までお問い合わせいただきますようお願いいたします。

※危険※

本体に強い衝撃を与えないこと

本体に水や液体をかけないこと。

本体のカバーは決して開けないこと。

使用者は内部に触れないこと。

異常と思われるときにはすぐに使用を取り止めチェックを依頼すること。

＊製品保証について＊
本機の製品保証につきましては、松田通商株式会社が定める国内保証規定に準じるものとします。

＊製品名及びロゴ等について
本取扱説明書記載の製品名及びロゴ等につきましては各社の商標または登録商標です。

※製品のバージョンアップにともなう仕様変更によって、文面と実際の内容が一部相違する場合もあります。
また、製品の仕様及び概観等は予告無く変更される場合があります。

※本製品を使用するためのソフトウェアのインストールによるコンピューター及びその周辺機器についての不具合発生につきましてはその責任を負うことができません。

2012.10.17　Revisoin 3.0

1. 各部の説明

1. トップパネル面

1. トーク・キー

送話ボタンです。トーク機能がオンのときは"6"のトーク・ライトが点灯します。設定によってロックまたはノンロック機能を選択できます。

2. コール・キー

コール信号発信ボタンです。コール信号発信中は"7"のコール・ライトが点灯します。

3. パワー・ステータス

Clear－ComラインからDC電源が供給されている場合に点灯します。
なお、最低動作電圧の12VDC未満の場合でも受電している場合は点灯します。

4. ボリューム・コントロール

接続されたヘッドセットのリスニング音量を調整します。なお、ヘッドセット・ドライバーにはリミッター回路が装備されています。
4A: チャンネルAのボリュームはプログラムボタンが押された状態の時にはメインまたはAUXヘッドセットのマイクゲインの調整用として働きます。"5"のセットアップLEDによって状態を確認することができます。
方法はセットアップ・ボタンを押しながらツマミを回すことによって行うことができます。なお、レベルがすでに最少または最大のときには表示は点灯しないか、もしくは変わりません。
マイクゲインは工場出荷時にプリセットされています。なお、ゲインの調整はアッテネートのみ行うことができ、ゲインアップを行うことはできません。また、コントロールはボリュームの中央位置近辺で作用します。

5. セットアップLED

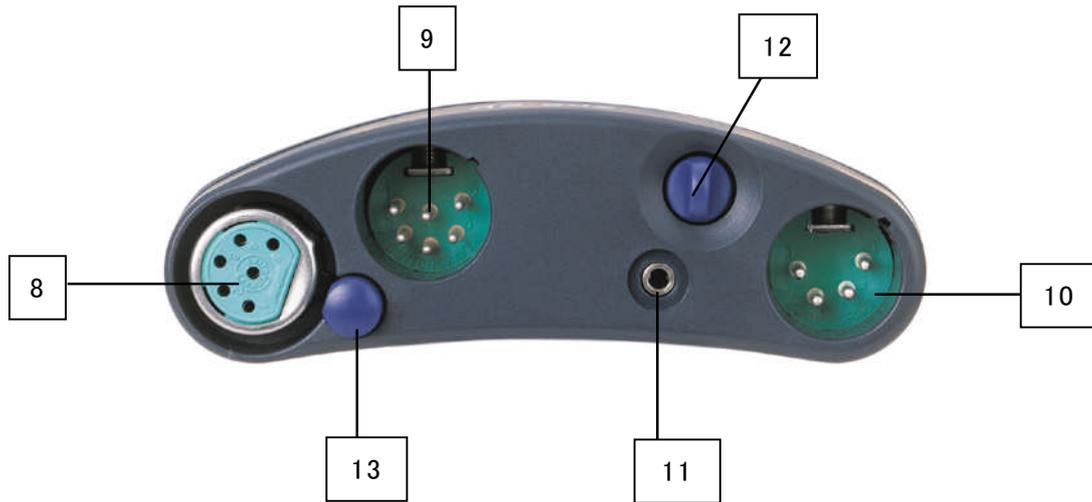
セットアップ・ボタンが3秒以上押されるセットアップ状態となり表示状態となります。もし7秒以内に操作がなされなかった場合、表示は消えます。もしセットアップ・ボタンがマイクレベル調整のために押されている時は、ボタンが離され、再度押されるまでLEDは機能しません。
セットアップ・モード時はモード番号や選択された機能が表示されます。また、マイクレベル調整時はそのゲインによって、0(ゼロ)を表示する6セグメントのうちの1つが点灯します。なお、1セグメントは約3dBを表します。

6．トーク・ライト

トーク機能がオンのときに緑色のランプが点灯します。また、オンボード・セットアップ時のステータス表示としても使用します。

7．コール・ライト

コール信号を発信中、もしくは受信中に赤色のランプが点灯します（なお、プログラム設定によって変更可能です）。

2．底 面

8．インターカムライン入力コネクター

Clear－Com用インターカムライン入力コネクターです。

6ピンXLRメス： 1番ピン＝グランンド、 2番ピン＝電源（DC）、 3番ピン＝Bチャンネル音声
4番ピン＝Aチャンネル音声、 5・6番ピン＝バランス・プログラム

9．インターカムライン・スルーアウト用コネクター ＊RS－602のみ

Clear－Com用のスルーアウト・コネクターです。他のステーションに渡り接続をするために使用します。

6ピンXLRオス： 1番ピン＝グランンド、 2番ピン＝電源（DC）、 3番ピン＝Bチャンネル音声
4番ピン＝Aチャンネル音声、 5・6番ピン＝バランス・プログラム

10．メインヘッドセット・コネクター

Clear－Com用ヘッドセット・コネクターです。標準ではダイナミック・マイク仕様となりますが、設定によってエレクトレット・マイクの使用も可能です。なお、エレクトレット・マイクに設定された場合、マイクゲインは自動調整となります。

なお、RS－602は4ピン仕様ヘッドセットによるモノラル・リッスンとなっており、RS－622は6ピン仕様ヘッドセットによるスプリットチャンネル・モニター(Aチャンネルは右耳から、Bチャンネルは左耳から)リッスンとなります。

RS－602： 4ピンXLRオス： 1番ピン＝マイク・シールド、 2番ピン＝マイク・ライン、
3番ピン＝ヘッドホン・シールド、 4番ピン=ヘッドフォン・ライン

RS－622： 6ピンXLRオス： 1番ピン＝マイク・シールド、 2番ピン＝マイク・ライン、
3番ピン＝Aチャンネル・ヘッドホン・シールド、 4番ピン=Aチャンネル・ヘッドフォン・ライン
5番ピン＝Aチャンネル・ヘッドホン・シールド、 6番ピン=Aチャンネル・ヘッドフォン・ライン

11．AUXヘッドセット・コネクター（2．5mm径ステレオプラグ用）

Clear－Com　CC－25軽量タイプヘッドセット接続専用のヘッドセット・コネクターです。装備されているマイク・プリアンプはCC－25の特性に合わせたものとなっており、CC－25以外の使用は想定していません。　CC－25以外の使用による性能の低下や不具合については一切サポート及び保証できませんのでご注意ください。

携帯電話やトランシーバー用のヘッドセットを使用した場合はパフォーマンスが低下するだけではなく、システムに障害をもたらす場合もありますので使用は避けてください。

なお、AUXヘッドセット・コネクターは常にエレクトレット・マイク専用となっています。設定でメインヘッドセット・コネクターがダイナミック・マイクであっても影響はしません。

また、AUXヘッドセットはモノラル仕様となっていますので、A、B両チャンネル及びプログラム入力がミックスされた状態となります。

12．オーディオ・プログラム・レベル・ノブ

プログラム入力のレベルを調整します。プログラム入力はインターカム・ライン・コネクターの5・6番ピンを利用したバランス入力で、トランスフォーマーによりアイソレーションされます。またRS－602ではループ・スルー・コネクターを利用して他のプログラム入力可能な6ピン付ステーションに渡り接続することができます。

なお、入力レベルは－20～＋10dBVまでの範囲となっています。

13．プラグリース・ボタン

接続したXLRプラグはロックされます。プラグを引き抜く場合はこのボタンを押してロックを解除しながら引き抜きます。

3．サイド面

＊　セットアップ・ボタン

青色のセットアップ・ボタンを約3秒以上押し続けるとセットアップ・モードになり、オンボード・セットアップが可能となります。もし7秒以上操作を何も行わなかった場合、セットアップ・モードはキャンセルされます。

＊　RS232接続用コネクター（3．5mm径ステレオプラグ、VPC－1専用ケーブル接続用）

セットアップ・ボタンの下部に位置する3．5mmジャックはRS232接続用です。

専用のVP－1ケーブルはDサブ9ピン・メスと3．5mm径ステレオプラグとの変換ケーブルとなっており、PCとRS－601を接続することができ、専用のV－Pack™ソフトウェアによって上位設定の変更を行うことができます。

4．背　面

＊　サイドトーン

サイドトーンはヘッドフォンに戻す“自分自身の声”のレベルを調整します。通常は調整用　ボリュームポットの回転範囲の中間位置でご使用ください。もし、使用上において自分の声の戻りをもっと大きくしたい場合や小さくしたい場合は小型のマイナスドライバーでゆっくりと回しながら適性レベルとなるように調整してください。なお、極端なレベル設定はシステムに不具合が生じている状況と同じような症状を引き起こす場合がありますので注意してください。また、そのような設定が必要となってしまう場合はヘッドセットに不具合が生じている可能性もあり　ますので、他のステーションでの確認も行ってみてください。

なお、サイドトーンはA、Bチャンネル個別に設定することができます。

注意：　ボリュームポットを回すときはゆっくりかつ必要以上の力を入れないようにしてください。
　　　回し過ぎにや力の入れ過ぎによってボリュームポットを破損していまう恐れがあります。

＊　ベルトクリップ
ベルトクリップは2箇所のねじで固定されています。このねじをはずすとクリップ部を取ることができ、クリップの向きを90度、180度、270度異なった向きに取り付け直すことができます。

2. TW（2ワイヤー）仕様との互換性について

RS－602／603は6ピンコネクターを用いた2チャンネル仕様となっており、TWオプション仕様には対応していません。
TW仕様で使用する場合は、専用のRS－603シリーズをご使用ください。

各ベルトパックの初期設定は以下の通りです。

型　式	チャンネル数	工場出荷時設定	ライン用コネクター	H／S用コネクター
RS－601	1	Clear－Com標準	3ピン・オス／メス	4ピン・オス
RS－602	2	Clear－Com標準	6ピン・オス／メス	4ピン・オス
RS－622	2	Clear－Com標準	6ピン・メス	6ピン・オス
RS－603	2	Clear－ComTW	3ピン・オス／メス	4ピン・オス
RS－623	2	Clear－ComTW	3ピン・オス／メス	6ピン・オス
RS－603R	2	RTS　TW	3ピン・オス／メス	4ピン・メス
RS－623R	2	RTS　TW	3ピン・オス／メス	5ピン・メス

3. 設定について

RS－602／622は2つの方法で出荷設定を変更することができます。1つはPC経由によるV－Packソフトウェアによる設定で、詳細な設定や複数のベルトパックの設定変更を行う場合に向いています。もう1つはオンボード設定によるもので、ベルトパック本体で変更を行うことができます。

1. V－Pack™ソフトウェア

V－PackソフトウェアでによるV設定の場合はまずV－Packソフトウェアを使用するPCにインストールしてください。RS－602／622とPCはRS232データ経由で通信されます。RS側は3.5mm径ジャックとなっていますので接続にはVPC－1接続ケーブルの使用をお勧めします。
なお、PCでの設定はRS－601に適正な電源が供給されている状態で行うようにしてください。 電源が供給されていない場合は設定を行うことはできません。

V－Packソフトウェアの使用方法及び詳細についてはV－Packソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

なお、ピンアサインは以下の通りとなっています。

3.5mmプラグ側　　Dサブ9ピンメス側
チップ――――――２番ピン
リング――――――３番ピン
スリーブ――――５番ピンチップ

ベルトパックの設定時は規定のDC電源が供給されている必要性があります。通常のClear－Comラインまたは電源ユニットから電源を供給してください。

複数のベルトパックを同じ設定にする場合、ベルトパック・クローンニング機能を利用します。オリジナルのベルトパック設定をコピーし、それを他のベルトパックにペーストすることができます。なお、コピーしたした設定のペーストは１度に１台となっていますので、複数のベルトパックをクローンニングする場合はその台数分のクローンニング作業が必要となります。

Ｖ－Ｐａｃｋ^{TM}ソフトウェアでの主な設定可能な内容は以下の通りとなっています。

● オペレーション・モード
ベルトパック本体に保存した４つのモードから任意のモードを選択します。なお、モードはベルトパック本体にメモリーに保存され、電源投入時は常に最後に使用していたモードで立ち上がります。

● チャンネル設定
Ａ、Ｂチャンネルを入れ替えます。

● ラッチ・オペレーション
トーク・キーのラッチ・タイプをノン・ラッチ、ダブルタップ・ラッチ、シングルタップ・ラッチ、電源オン時ラッチ、常時ラッチから選択できます。
工場出荷時はモード１及び２がダブルタップ・ラッチ、モード３及び４がシングルタップ・ラッチ設定となっています。

● マイクロフォン・フィルター設定オフ
Ｃｌｅａｒ－Ｃｏｍシステムで使用する際に送話を聞きやすくするために独自のフィルター設定がなされています。
通常のＣｌｅａｒ－Ｃｏｍシステムで使用する際にはオンのままで使用してください。
ＲＴＳシステムで使用する際にはオフにしてください。なお、この設定はメイン及びＡＵＸヘッドセットそれぞれ可能となっています。

● ヘッドフォン・フィルター設定オン
ヘッドフォン回路にフィルターを設定することができます。標準ではフルレンジとなっていますが、ハイカット・フィルターを選択することができ、約８ｋＨｚからロールオフするようになっています。なお、この設定はメイン及びＡＵＸヘッドセットそれぞれ可能となっています。

● メインヘッドセット・マイクゲイン
工場出荷時のマイクゲイン設定を変更します。通常変更する必要はありませんが、声質やバックグラウンド・ノイズなどの状況によって変更することができます。なお、この設定は工場出荷時からレベルを下げることはできますが、上げることはできません。

● ＡＵＸヘッドセット・マイクゲイン
工場出荷時のマイクゲイン設定を変更します。通常変更する必要はありませんが、声質やバックグラウンド・ノイズなどの状況によって変更することができます。なお、この設定は工場出荷時からレベルを下げることはできますが、上げることはできません。

● オーディオプログラム・インプットレベル
外部プログラム入力感度を３０ｄＢレンジで調整できます。なお、外部プログラム入力のリッスン・レベルの調整はベルトパック下部のボリュームによって行います。

● コールLEDディマー
コールLEDの明るさをノーマルとロウの2つから選択できます。出荷時はノーマルですが、消費電流を抑えたい場合や、コールLEDの発光を目立たなくしたい場合に設定します。

● コールLEDモード
コールLEDの表示方法を、点灯、点滅、点灯無しの3パターンから選択できます。出荷時は点灯。もし、ベルトパックがAC及びDCコールの両方をを設定している場合はそれぞれ異なった設定にすることもできます。

● コール・オン・トーク(トーク時コール信号発信)
トーク・ボタンを押したときにコール信号も同時に発信されます。トークがオン状態のときに常にコールも発信状態となりますのでトーク・ボタンはノンラッチ設定にしておくことをお勧めします。また、コール信号によるリレー機能を有したTW－40やKB－212をコントロールする場合にも便利です。この機能はチャンネルごとに設定可能です。

● エレクトレット・マイク使用
メイン・ヘッドセット及びAUXヘッドセットそれぞれにおいて、マイクロフォン・タイプをエレクトレット仕様にします。
オンボード・セッティングではメイン・ヘッドセットのみ変更可能ですが、V－Pack™ソフトウェア設定ではAUXマイクの設定も行うことができます。
なお、指定品以外のヘッドセット使用における不具合等につきましてはサポート外となります。メイン、AUXヘッドセットとも、指定品の使用を強くお勧めします。

● コールシグナル・セレクト
コールLEDを点灯させるためのコールシグナルをDC(Clear－Com標準)とAC(RTS標準)から選択できます。
これはA、Bチャンネルそれぞれ自由に設定できます。またコール・センドとコール・レシーブも別個の設定が可能です。
例えば、A氏のベルパックのAチャンネルを通常のDCコールとして使用し、BチャンネルをTW－40トランシーバー・インターフェイスのトリガーとして使用する場合、DCコールとACコール両方を設定したとします。そしてTW－40トリガー用ベルトパックをACコールにしておくことによって、A氏がチャンネルBをコールするとTW－40が作動するということになります。またこのとき、TW－40トリガー用ベルトパック以外のBチャンネルをDCコールにしておくことによってA氏からのコールに対してはTW－40とその他のステーション全てにコール信号が発せられ、逆に他のステーションからコール信号が発せられた場合、A氏はコールを受けることはできますが、TW－40は動作させずに済みます。また、A氏の設定をACコールのみにした場合、A氏のコールはTW－40のトリガーのみとして働き、他のステーションへのコール発信を行わないということもできます。このとき他のステーションでコールが発せられた場合、A氏はコールを受けることはできませんが、他のステーション間ではコール発信されます。

● コールトーン発信(ヘッドセット・スピーカー)
ヘッドセット・スピーカーからアラート音によるコールが可能となります。なお、トーンのレベルはプリセットとなっていますので変更できません。ただし、リッスン・レベルによって音量は相対的に変化します。この機能はコール発信者が声を出せないような場合や、コールシグナルの確認が困難な場合に便利です。

● ミニマム・ヘッドセット・レベル
ヘッドセットのリッスンボリュームを絞りきったときの最小レベルを設定します。これによって絞りきりによるオフ状態での聞き逃しを避けることができます。

● ステレオ・ヘッドフォン・ミックス(RS－622のみ)
両耳仕様ヘッドセットのスプリットチャンネル・モニターをモノラルミックス・モニターに変更します。

● マイク・ノイズゲート
ヘッドセット・マイクにノイズゲートを設定することができ、スレッショルド・レベルの調整を行うことができます。
トーク・ボタンのオン／オフをすることが難しいハンズフリー・オペレーション時に設定すると便利です。

● トーク・ファンクション
トークをA、Bチャンネル同時に行うことができる2チャンネル送話モードと、両チャンネル同時には送話できないバウンスバック・モードを選択できます。バウンスバック・モードではトークをセレクトしたチャンネルのみに送話が可能となり、もう一方のチャンネルは自動的にオフとなります。

● リモート・マイクキル
リモート・マイクキル機能は他のベルトパック・ステーションのトークがオンの場合にオフにする機能です。
トーク・オフ忘れによって周りのノイズを拾っているような場合に他のステーションからオフにすることができます。

2. オンボード・セットアップ

オンボード・セットアップではベルトパック本体で設定の変更を行うことができます。設定内容はモードとして4つまでRS－602／622本体の不揮発性メモリー保存されます。モード1は初期設定となっており、これを変更してモード2、3、4として保存します。、モード1を含めた全てのモードの内容設定は変更可能でそれを上書き保存することができます。保存した各モードはリコールすることができます。

オンボード・セットアップを行う場合はRS－602／622に適正な電源が供給されている状態で行うようにしてください。電源が供給されていない場合は設定を行うことはできません。

なお、電源投入時のモードは、最後に電源が落とされたときのモードと同一となります。つまり、オンボード・セットアップによってモードが変更されない限り、常に同一の設定で使用することができます。

オンボード・セットアップは以下の方法で行います。

1. RS－602／622に適切なClear－Com電源が供給されていることを確認してください。

2. RS－602／622本体横にある青色のセットアップ・ボタンを約3秒間押し続けると、トップパネル上のセットアップLEDが“P”と表示され、パワーLED以外のランプが全て消えるので、セットアップ・ボタンを離してください。
“P”表示が“1”となりセットアップ・モードになったことを示します。
なお、この状態で数秒間操作を行わないとセットアップ・モードはキャンセルされます。

3. モード（MODE）：　プリセットしたファンクションをストア及びリコールします。
セットアップ・モードになった後すぐにトーク（TALK）ボタンを押すとモード・セレクト状態となります。このときセットアップLEDの表示は“1”の点灯となりますがもう1度トーク・ボタンを押すと現在のモード番号が点滅表示されます。さらにトーク・ボタンを押すと数字がステップしますので、1～4までの使用したいモードを選択してください。選択後、再度セットアップ・ボタンを　押すとモードが確定しセットアップ・モードは解除されます。セットアップ・ボタンを押さず、そのままの状態にしておくと、セットアップ・モードはタイムアウトとなり、モード変更は行われません。
注意：　モードを選択した場合、セットアップLEDは常に“1”を点灯表示しますが、これは現在のモードを表示しているわけではありません。再度トーク・ボタンを押したときに点滅表示される数字が現在のモード番号となります。

4. ファンクション（FUNCTION）： 実際の設定のオン／オフを設定します。

セットアップ・モードになった後すぐにコール（CALL）ボタンを押すとファンクション・セレクト状態となり、“２～９、L”にステップし、どのファンクションを設定するかを選択します。それぞれのオン／オフの切り替えはトーク・ボタンを押すことによって行うことができます。機能がオンの時はトークLEDが点灯し確認することができます。選択後、再度セットアップ・ボタンを押すとモードが確定しセットアップ・モードは解除されます。セットアップ・ボタンを押さず、そのままの状態にしておくと、セットアップ・モードはタイムアウトとなり、モード変更は行われません。

なお、各ファンクションの設定は1回に1つとなります。複数の設定を変更する場合は、操作を必要回数行ってください。

5. セットアップ・モードが解除されるとセットアップLEDは消灯し、他のLEDが再び点灯し、通常のオペレーション・モードとなります。

6. 各ファンクションの説明

- Function2： ラッチ機能無効

  トーク・ボタンのラッチ機能を無効にします。この設定はコール・オン・トーク機能を使用している時に推奨される設定です。この機能はチャンネルごとに設定可能です。

- Function3： トーク機能無効

  トーク機能が無効となります。RS－601をリッスンのみで使用する場合の設定です。この機能はチャンネルごとに設定可能です。

- Function4： コール・オン・トーク（トーク時コール信号発信）

  トーク・ボタンを押したときにコール信号も同時に発信されます。トークがオン状態のときに常にコールも発信状態となりますのでトーク・ボタンはノンラッチ設定にしておくことをお勧めします。また、コール信号によるリレー機能を有したTW－40やKB－212をコントロールする場合にも便利です。この機能はチャンネルごとに設定可能です。

- Function5： エレクトレット・マイク使用（メイン・ヘッドセット）

  メイン・ヘッドセットのマイクロフォン・タイプをエレクトレット仕様にします。

- Function6： コールトーン発信（ヘッドセット・スピーカー）

  ヘッドセット・スピーカーからアラート音によるコールが可能となります。なお、トーンのレベルはプリセットとなっていますので変更できません。この機能はコール発信者が声を出せないような場合や、コールシグナルの確認が困難な場合に便利です。

  なお、コールトーン設定時もコールランプは点灯します。

- Function7： チャンネル・スワップ

  A、Bチャンネルの機能を入れ替えます。設定したベルトパックのみに対して有効です。

- Function8： 占有チャンネル

  AまたはBどちらか一方のみを機能させます。トークやコール・ボタンは選択したチャンネルのみ機能します。また、ボリューム・コントロールも選択したチャンネルのみが機能します。Aチャンネルを占有にする場合はAチャンネルをラッチしてからセットアップ・モード状態にし、この機能を設定してください。Bチャンネルを占有にする場合も同様です。

● Function9：　ヘッドセット・リッスンチャンネル・ミックス（RS－622のみ）
両耳仕様ヘッドセットのスプリットチャンネル・モニターをモノラルミックス・モニターに変更します。

● FunctionL：　全オンボード・アクセス・ロックアウト
オンボードでの設定を不可とします。ファンクションまではアクセスできますが設定変更はできません。再度ファンクションにアクセスする場合は工場出荷時状態に戻すか、PC経由で行わなければなりません。なお、モードについては選択可能です。

7．RS－602／622を工場出荷時の設定に戻す
RS－602／622を工場出荷時の設定に戻したい場合は以下のように行ってください。
まず、セットアップ・モードで“P”表示させ、セットアップ・ボタンを離します。次にコール・ボタンを　押し続けると表示が“1”から“2”に変わりますので、そのまま押し続けた状態で再度セットアップ・ボタンを押します。LED表示が“F”となったあとにLED表示が消え、通常のオペレーション・モードとなります。

8．実際の設定例
モード1を基準設定とし、モード3を変更して使用する場合は以下のように行います。
ⅰ．セットアップ・モードにする。LEDハ“1”が点灯表示。
ⅱ．トークを押して“3”の点滅表示とさせる。
ⅲ．セットアップ・モードを終了する。これでRS－601のモードは“3”となります。
ⅳ．再度セットアップ・モードにする。LED表示は“1”点灯ですが実際のモードは“3”となります。
（このときトークを押すと“3”の点滅表示となりモードが“3”となっていることが確認できますが、ここではその操作は行いません）
ⅴ．コール・ボタンを押して“2～7、L”の変更したいファンクションを選択します。
ⅵ．選択後、トーク・ボタンを押してオン／オフを選択。
ⅶ．セットアップ・ボタンを押して確定させる。これでモード“3”の設定が変更されました。
複数の設定を変更させる場合は操作を繰り返してください。

上記の設定状態でモード1に変更する場合は次のように行ってください。
ⅰ．セットアップ・モードにする。LEDハ“1”が点灯表示。
ⅱ．トークを押すと現在のモードである“3”が点滅表示となる。
ⅲ．再度トークを押して“1”の点滅表示を選択する。
ⅳ．セットアップ・スイッチを押してセットアップ・モードを解除。これでモードは“1”に変更されます。

3．工場出荷時状態に戻す場合

RS－600シリーズを工場出荷事状態に戻す方法はPCからの設定または本体リセットの2通りあります。

V－Packソフトウェアによるリセット。
ソフトウェア上で所定のセクションで変更を行います。

オンボード・セットアップによるリセット。
まず、セットアップ・モードで“P”表示させ、セットアップ・ボタンを離します。次にコール・ボタンを押し続けると表示が“1”から“2”に変わりますので、そのまま押し続けた状態で再度セットアップ・ボタンを押します。LED表示が“F”となったあとにLED表示が消え、通常のオペレーション・モードとなります。

4．その他

1．使用ケーブルについて

接続に用いるケーブルは信頼性のある2芯シールド・ケーブルを用いてください。クロストークや DC電圧低下の問題を防ぐためにも抵抗値の少ない良質なケーブルを用いてください。弊社では L－4E6相当以上のご使用をお勧めしています。

なお、クロストークについてはヘッドセット・ケーブルが原因となる場合もあります。Clear－Com では指定のケーブルを用いた場合のみに、3mまでの延長を認めています。指定以外のケーブルや長さでの使用における不具合につきましては対処いたしかねますのでご注意願います。

松田通商ではヘッドセット延長用として3mの専用ケーブルを販売しております。

2．使用ヘッドセットについて

RS－601と組み合わせて使用するヘッドセット及びマイクロフォン等についてはClear－Comの純正品または推奨された指定品をご使用ください。

RS－601のヘッドフォン・アンプは50～2000Ω、マイク・プリアンプは50～1000Ωまでのインピーダンスに対応していますが、純正品及び指定品以外のものにつきましてはサポートを行っておりません。ご使用によるトラブルについては対応できませんのでご了承願います。

3．お手入れについて

使用後は表面のほこりや汚れを取り除いてください。RS－610は防水仕様ではありませんので、内部に水分が入るような清掃は行わないでください。汚れがひどい場合には中性洗剤をを染み込ませた布でふき取った後、強く絞った布で水拭きしてください。

なお、お手入れの際は通電状態では決して行わないでください。また、お手入れ後はRS－601が完全に乾いてから使用してください。

4．トラブル・シューティング

以下にいくつかのトラブル例を示しますが、問題が解決されない場合は弊社技術までお問い合せ下さいますよう、お願いします。

- 症状：音量が低い
  原因：複数ターミネーション（メインステーション及びパワーサプライを計２台以上使用の場合）
  対策：ターミネーションを１つのステーションのみで設定する
  原因：ケーブルの長さや太さが原因となる抵抗値の増大
  対策：良質かつ径の大きなケーブルを使用する

- 症状：コールランプが点灯したままとなる
  原因：DCが音声ラインに乗っている
  対策：ケーブルのショートや、ピン番号の配線を確認する。ターミネーションが正しく設定されているかを確認する

- 症状：マイクレベルが極端に高いまたは低い
  原因：口からマイクまでの距離、マイクゲイン設定、サイドトーンレベルなどが適切でない。
  またはターミネーションがオフまたは複数でオンとなっている。
  対策：上記設定の確認。また、ヘッドセットを変えて試してみる。

- 症状：　ヘッドセットのレベルが極端に高いまたは低い
  原因：　ターミネーションがオフ、不適切なインピーダンス仕様のものを使用、回線のショート
  対策：　ターミネーション、ケーブル接続を確認する。純正又は指定ヘッドセットに交換し、サイドトーンやリッスンレベルを調整してみる

- 症状：　コンフィグレーションの変更ができない
  原因：　ロックアウト状態となっている
  対策：　PCからの変更または工場出荷時にリセットする

5．保証について

松田通商株式会社によって輸入・販売された正規のClear－Com（クリアーカム）製品は全て松田通商株式会社の日本国内における保証規定によって保証されます。
RS－600シリーズの保証期間は販売日から1年間となります。

ただし、以下の場合は保証の対象とはなりません。
・弊社保証規定に該当しない状況での使用
・弊社サービススタッフ以外による修理・回路変更がなされた場合
・誤った電源電圧の使用
・運送便途中による事故
・自然災害などによるもの
・落下及び衝突による外傷
・誤った使用によるもの
・故意・過失によるもの
・その他につきましては社会通念に照らし合わせた扱いといたします

なお、修理品の運搬費用につきましては保証の対象とはなっておりません。別途ご負担いただくこととなりますのでご了承願います。
その他ご不明な点につきましては弊社担当までお問い合わせください。

保証規定につきましては変更される場合があります。
この保証規定は使用者の法的な権利に影響を与えるものではありません。

保証修理を受ける場合には弊社への事前連絡をお願いします

6. 仕 様

一 般

アンプ仕様： ICアンプリファイヤー、電流及びショートプロテクション回路
S／N： ＞75dB、 ブリッジ・インピーダンス： ＞15kΩ
ラインレベル： －14dB～＋5dBmax
サイドトーン・アジャスト： ＞35dB
EMI＆RFIリジェクション： ＞60dB

マイクロフォン・プリアンプ

ヘッドセットマイク・インピーダンス： 200Ω
ゲイン（マイク・トゥ・ライン）： 41dB（ダイナミック）
リミッター・レンジ： 26dB
周波数特性： 200Hz～12kHz

ヘッドフォン・アンプリファイヤー

ロード・インピーダンス： 50～2，000Ω
アウトプット・レベル： ＋17dBv
ワイ率： ＜0．1％ THD＠1kHz
ゲイン（ライン・トゥ・アウトプット）： ＋34dB
周波数特性： 100Hz～18kHz、±2dB

プログラム・インプット

バランス、トランスフォーマー・アイソレーション
入力感度： －20dBv～＋10dBv
周波数特性： 50Hz～18kHz、±2dB

コネクター

RS－602 インターカムライン： 3ピンXLRオス座×1、 3ピンXLRメス座×1
ヘッドセット： 4ピンXLRオス×1
RS－622 インターカムライン： 3ピンXLRメス座×1
ヘッドセット： 6ピンXLRオス×1

電 源

待機状態： 55mA、 トーク時平均： 62mA、 トーク＋コール時： 80mA、 動作電圧： DC12～32V

使用環境

温度： 0℃～70℃、 相対湿度： 0～90％

寸法及び重量

116（H）×95（W）×34（D）mm、 220g

＊0dBv＝0．775V RMS
製品の仕様及び外観は予告無く変更される場合があります

2012.10.17 ky